

くちや

第546号

令和8年2月1日

発行 口屋跡記念公民館

電話 32-8430



宮西校区人口

令和7年12月末日現在

人口 男 2, 155人

女 2, 172人

計 4, 327人

世帯数 2, 533世帯

1702年(元禄15年)へ、タイムトリップ…

カラー版はまちづくり協議会の
ホームページでご覧ください。→

公民館の“ジオラマ”を見に行こう！



「宮西小学校」は、子どもたちなど、人物の豊かな表情が見られ、また、「二宮尊徳像」がそれを見守ります。



「立川中宿」は、3作の内、最後に製作されました。小動物も多く、遊び心も感じられます。

ジオラマの中を探そう！



口屋跡記念公民館1階ロビーに展示されている3棟のジオラマ。これらは「口屋あかがねの会」の皆さんのが2013年から2015年までに完成されたもので、1702年の開設当時を再現した「新居浜浦口屋浜宿」と「立川山村民立川中宿」、そして「宮西小学校」は1937年当時を再現したものです。

1702年は、江戸時代、元禄15年にあたり、翌1703年1月には忠臣蔵で知られる赤穂浪士が、吉良義央を討ち取った事件が起きた300年以上前の遠い昔になります。

ジオラマは、どれも精巧につくられており、建物、庭だけでなく人々や小動物までもが手作業で当時の姿が生き生きと再現されています。まるで過去に遡って、空中からドローンで見ているような錯覚さえ生じます。



精巧につくられた「口屋浜宿」。建物だけでなく、庭や「あかがねの松」も細かな細工がされています。

そして、今回、「口屋あかがねの会」の皆さん、ジオラマの製作過程や2014年(平成26年)に、泉ガーデンギャラリー(東京都六本木)で開催された「別子銅山展」で「口屋浜宿」のジオラマが展示されたことなどの記憶を留め、そして後世に残そうと1枚のパネルにまとめました。

パネルは、公民館ロビーのジオラマ近くに設置しています。そして、何よりジオラマを見たことがない方は、ぜひ公民館にお越しいただき、ご覧ください。“一見の価値あり”です。

パネル前にて「口屋あかがねの会」の皆さん(令和7年12月設置)

「新居浜まいぶれ」のYouTubeチャンネルで新居浜口屋のジオラマが見られます。
URL=https://www.youtube.com/watch?v=pPvmNNkyGe4

2月の行事予定

4日(水)	少年式(北中学校)	
6日(金)	読み聞かせ	9:00~
8日(日)	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査	
11日(水)	建国記念日 休館日	
16日(月)	民児協会	19:00~
20日(金)	ひよこっこ	10:00~
23日(月)	天皇誕生日 休館日	
27日(金)	自治会長会	19:00~
28日(土)	新居浜市公民館研究大会	9:30~

テーマ「公民館版 SDGs の目標達成に向けて」

場所 市民文化センター中ホール ※ぜひご参加ください！

※行事予定は変更の場合がありますのでご了承下さい。

※3月号の公民館報は3月9日(月)~13日(金)の間にHoo-JA!の中に折り込まれて配布されます。



9:00~

宮西小4年生 七草粥(がゆ)を体験しました！

令和8年1月8日(木)、宮西小4年生を対象に、七草粥講座を実施しました。最初に由来や「春の七草」などについて、岡野公民館長から説明があり、その後、みんなで七草粥をいただきました。

七草粥は、初めて食べる子もいましたが、とても優しい味わいでおいしく食べることができました。

皆さん、七草粥パワーで1年間健康で過ごしましょう！また、お手伝いをいただいた保護者の皆さんありがとうございました。

完成！七草粥



みんなでいただきました。お代わりする子も！

春の七草の種類

セリ、ナズナ、ゴギョウ(ハハコグサ)
ハコベラ(ハコベ)、ホトケノザ、
スズナ(蕪[かぶ])、スズシロ(大根)



七草粥は、古代中国由来の行事と日本の「若菜摘み」の風習が合わさったものと言われており、伝統行事として邪気を払って1年間の無病息災(病気をしないこと)を願い、また、お正月料理を食べ過ぎて弱った胃腸に優しく、七草で冬にビタミン類が不足がちになるのを補給して、健康を願いながら食べるものです。行事としてだけでなく、栄養学的な観点からも理にかなった食事であるとされています。

天までとどけ！新居浜凧あげ大会

宮西小6年生が思い思いに描いた絵で連凧をつくり、令和8年1月18日の新居浜凧あげ大会に向け、宮西小グラウンドで凧あげの練習を行いました。練習日の1月15日（木）は風が弱く、しかも風向きがコロコロ変わる悪条件でしたが、公文愛護班連絡協議会長のアドバイスと、子どもたちの「全力疾走」とチームワークで、連凧が舞い上りました。皆さん、凧あげの「コツ」はつかめましたか？そして…

4連覇達成！ 市長賞受賞



マリンパークの天高く舞い上がった連凧。
18日の大会本番では、抜群のチームワークで、見事、「市長賞」に輝きました。



練習に参加した6年生の皆さん



市営住宅入居者募集（申込受付等をします）

申込等期間 令和8年2月2日（月）～同2月16日（月）

※申込は、窓口のみです。（郵送、メールは不可）

※募集団地等の詳細は、公民館掲示物、市政により、下記グループのホームページ、入居者募集要領等をご確認ください。

問い合わせ・申込先：新居浜市営住宅管理グループ

〒792-0025 新居浜市一宮町一丁目6番37号 横山ビル1階

☎ 0897-47-5218

公民館大掃除ご協力ありがとうございました！

令和7年12月24日（水）、年末の公民館大掃除を行いました。あいにくの小雨の中でしたが、公民館利用サークルの皆さんと北中ボランティアの生徒、総人数70名！にお集まりいただき、丁寧に隅々まで掃除をしていただきました。

各部屋や汚れが目立っていたフロアも北中生をはじめ、皆さんでピカピカに磨いていただき、公民館全体がパーッと明るくなりました。ご参加の皆さま、本当にありがとうございました。



トイレも床もピカピカ
になりました
2025/12/24

編集後記

★口屋のシンボルと言えば『ジオラマ』、そして『銅（あかがね）の松』。

鷺（ワシ）の羽ばたきにも似たこの大松は、何を連想されますか？私は“古代ギリシャの王『ゼウス』が、片手を空に掲げた姿”が浮かびます。この王は、鷺で表わされ、また、青銅（せいどう）時代の人々に厳しい罰を与えたことが脳裏にあるせいかもしれません。そして、ゼウスは「人間界と神々の仲裁者」とされています。「この松は、300年間、この地の人々の営みを、神々へ伝えていた」との空想は戯言でしょうか。

松は、「金食い虫」と言われます。我が家にも樹齢150年超を含め、7本の松があり、これまでの剪定費用などで自動車が買える程です。時折、「伐採の誘惑」にかられながらも、積年の愛着と、凛とした姿の存在感、そして、何かしらの木の持つ力を感じます。

事務室から「あかがねの松」が、多くの職人の手で、丁寧に剪定や消毒がされ、人手で守られているのを見ながら、神社の御神木のように、本当に守られてきたのは、「人」か「松」かを考えたりします。（H.T）

各種講座等のご報告

3回目開催！「腰痛、ひざ痛予防体操と工夫」教室

令和7年11月11日（火）、おなじみの加藤秀美先生に、3回目の「腰痛、ひざ痛予防体操と工夫」教室をしていただきました。

「吸って」「吐いて」、「足を平行に」「もう少し曲げて」…など先生のテンポの良い掛け声に合わせ、24名の皆さんは体を動かします。少しだけきつめだけど、決して無理にならない絶妙な加減の運動で参加者から「体がとても楽になった」「先生のトークが楽しかった」などなど。

最後に先生から「4回目、5回目もやりたい」とうれしい申し出もあり、大きな拍手が送られました。

令和8年度は、今まで未経験の方もぜひご参加ください！

大人気講座！来年度も開催予定



新居浜保育園児、お年寄りとふれあい交流！

同12月10日（水）、新居浜保育園からかわいい園児が公民館に来てくれ、お年寄りとのふれあい交流会を行いました。

園児が一生懸命練習した歌や寸劇を披露！観覧した高齢者の皆さんから大きな歓声が上がりました。

寸劇では、一人ひとりが生き生き演じて楽しい内容でした。「桃太郎」ならぬ「みかん太郎」が大活躍！勝負は「ケンカではなくジャンケンで決める！」という大人も考えさせられる内容でした。

令和10年度末までに閉園が予定されている新居浜保育園。園児数も減っているのですが、園児の皆さんから直筆のお手紙とともに、大きなパワーと元気をもらいました。

新居浜保育園の皆さん、来年もぜひ来てください！そして高齢者の皆さんもお元気で、来年もご参加ください。



寸劇では「みかん太郎」が大活躍！園児に手紙と笑顔のプレゼントをもらいました。

宮西小児童への『読み聞かせ』協力者募集！

公民館では月1回、宮西小1～6年生の児童を対象に朝8時から約15分間、『読み聞かせ』を実施しています。

来年度も実施を予定していますので、児童たちに読み聞かせを行っていただける方を募集いたします。興味のある方は、口屋跡記念公民館（☎ 32-8430）までご連絡ください。

ほんやりと父の猫貢が初鏡	松本 勇二
父母の世へ距離保ちつつ冬桜	安藤 和子
寒落暉人語鳥語も吸い込まれ	飯尾 東子
黎明の嶺の氣高さ年新た	岡田 三月
大樟の靈にまもられ初御空	薦田 のり子
あめつちやてのひらに寂冴え浮えと	堀本 小宇宙
三日はやテラシネのごと寝巻きの子	近藤 亜沙美
しぐるるや硝子の壇の小宇宙	みうちら 朱音

俳句

（諸句会一月例会より）